

Biz Clip調査レポート(第44回)

オフィスWi-Fi導入実態調査2023

2023.12.08

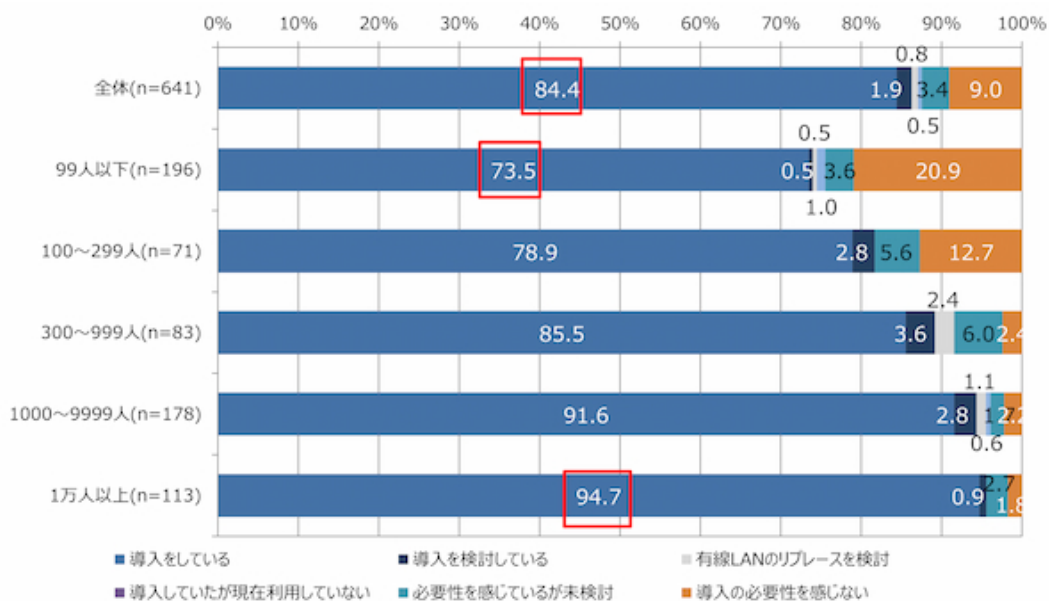


業務で使用するデバイスの増加やIoT機器の普及に伴い、Wi-Fiを使用した通信が一般化した。DXによる生産性向上や働き方改革推進の観点からも、オフィス内のWi-Fi環境整備は重要性を増している。オフィスWi-Fi導入の実態について、日経BPコンサルティングのアンケートシステムにて、同社保有の調査モニター950人を対象に調査を実施した。

企業の8割以上がWi-Fiを導入済み

社内のWi-Fi導入について尋ねた結果、「導入済み」と答えたのは84.4%。従業員数別に見ると、従業員数1000人以上の企業では9割以上が導入済みと答えており、前回調査と同様に従業員数が多い企業ほどWi-Fi導入が進んでいる傾向にある。一方、従業員数99人以下の企業では73.5%がWi-Fiを導入していると回答しているものの、「導入の必要性を感じない」と答えた層は2割に上った。

【図1 オフィスWi-Fi導入状況(従業員数別)】

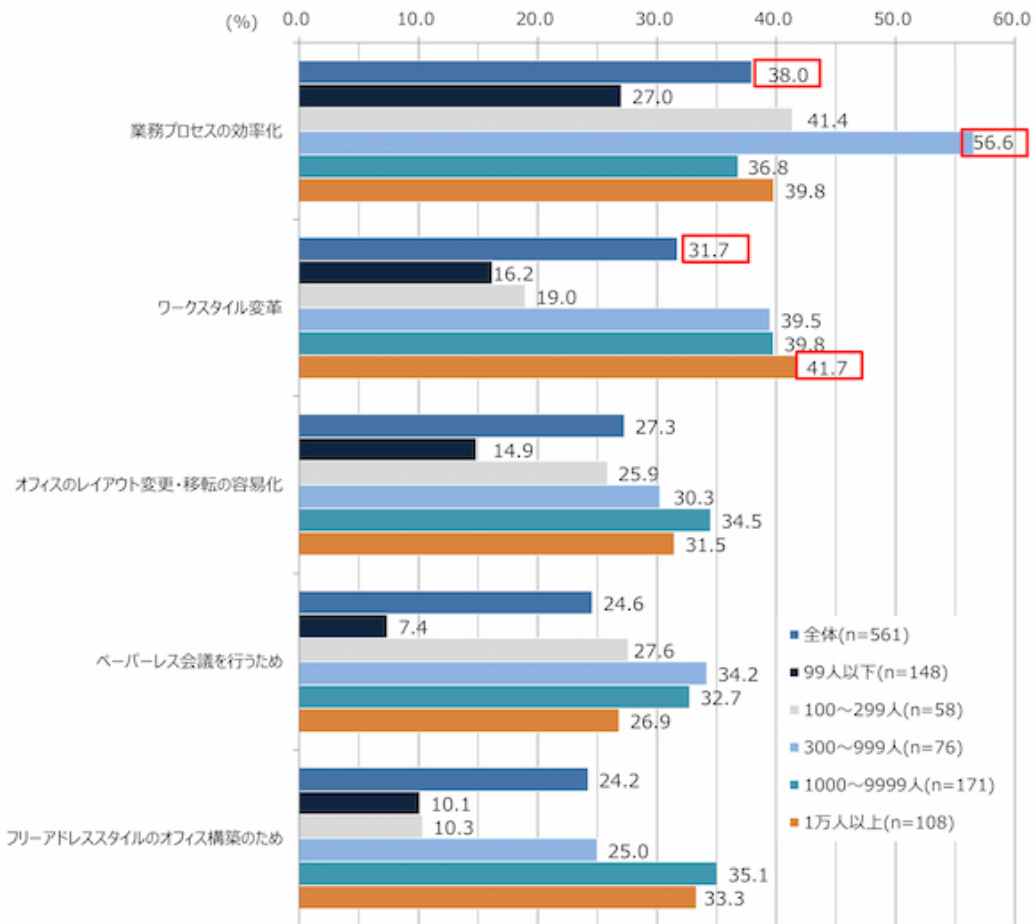


導入理由は「業務プロセスの効率化」と「ワークスタイル変革」が上位

オフィスWi-Fiの導入理由については、「業務プロセスの効率化」(38.0%)の回答が最多。以下、「ワークスタイル変革」(31.7%)、「オフィスのレイアウト変更・移転の容易化」(27.3%)が続く。「業務プロセスの効率化」に関しては、従業員数1000人未満の中小・中堅企業で同項目の選択率が高く、その中でも従業員数300~999人の企業では56.6%が導入理由に挙げている。

一方、従業員数1000人以上の企業では、どの理由にも満遍なく回答が集まったが、特に「ワークスタイル変革」の選択率が最も高い結果となった。コロナ禍を経て出社とテレワークを使い分けるハイブリッドワークが広がりを見せている。こうした点からも社内外問わず働ける環境を構築するために、オフィスWi-Fiの導入が前提になると言えそうだ。

【図2 オフィスWi-Fi導入理由・導入意向理由(従業員数別)】※上位5項目



Wi-Fi導入後、課題になるのは「通信状況・品質の悪さ」… 続きを読む